

## 甲佐町住まいの復興拠点施設



### 災害公営住宅、子育て支援住宅、防災公園を一体化した復興拠点施設

甲佐町役場に隣接し、周囲には水田、畑が広がる穏やかな環境の中、防災公園と融合した配置計画のもと、災害公営住宅、みんなの家、子育て支援住宅が一体となった熊本型復興拠点が完成した。防災機能を盛り込み、みんなの家を中心に子育て世代から高齢者まで、幅広い世代の交流を生み出す回遊性の高さが特徴。風の流れを計算に入れたうえで配置計画を行い、まち全体の風通しとともに住空間の風の流れに配慮されている。復興のシンボルを意識したまちづくりで、みんなの家、災害公営住宅、子育て支援施設、都市防災公園すべての工事が終了し、復興拠点施設として動きはじめた。

#### 甲佐町住まいの復興拠点施設

所在地 熊本県上益城郡甲佐町豊内718番地1他  
敷地面積 約12,800㎡  
設計者 岡野道子建築設計事務所+ビルディングランドスケープ+株式会社ライト設計

#### 甲佐町営住宅甲佐団地（災害公営住宅30戸+集会所）

- 構造・階数 木造・平屋
- 延べ面積 2003.00㎡
- 施工者 山王株式会社（建築）、株式会社ミヤデン（電気）、藤本水道株式会社（機械設備）

#### ヴェルデ甲佐（子育て支援住宅20戸）

- 構造・階数 鉄筋コンクリート造・地上3階
- 延べ面積 1987.92㎡
- 施工者 株式会社松島建設（建築）、田中建設株式会社甲佐支店（外構）、有限会社伊豆野設備（浄化槽）

#### みんなの庭（防災公園）

- 面積 2407.02㎡
- 施工者 田中建設株式会社甲佐支店



### 2019.8.10 sat 現場見学会

#### 室内に心地良い風が吹く 子育て世代が安心できる集合住宅

昼夜間に吹く風を積極的に取り入れた快適な住空間として計画された子育て支援住宅。風の通り道、風速、昼夜の差等を計算し、設計に配慮されている。甲佐町の住民、建築関係者、学生等、多方面からの見学者が集まり、開催された見学会では、真夏の蒸し暑い時期だったにもかかわらず、「風の通りが心地良かった」、「風の流れを感じた」等の感想が多く寄せられた。



現場見学会にて、説明する岡野道子氏（設計者）

#### 参加者の声

風の流れを応用した建築設計が取り込まれていて、自然との調和がとても良い住まいだった。（60代 建築事務所）

子育て世代に夢を与える建物となっていると感じた。細部にわたった配慮が設計に現れていた。（40代 公務員）

共用部の配慮、住民の方々への思いやりが各所にあり、とても勉強になった。（20代 建築事務所）

### 2019.11.22 fri 落成式

#### アートポリス事業を活用した 3つの役割を持つ復興拠点施設が完成

当日は、多くの関係者が見守るなか、甲佐町の奥名克美町長、同町議会の宮川安明議長に加え、蒲島郁夫熊本県知事やくまモン、地元の甲佐保育園と若草保育園の園児なども参加し、テープカット・セレモニーが行われた。来賓挨拶で蒲島知事は「創造的復興を含む、熊本地震からの復旧・復興の3原則に沿った施設」と、同施設を高く評価。さらに、「県民幸福量の最大化への貢献や定住による甲佐町の発展が、地方創世の第一歩になる」と、当事業への賛辞を述べた。



©2019 熊本県くまモン

## KASEIプロジェクト

### 甲佐町の家具製作を行いました！

仮設団地での住環境整備の取組みに加え、災害公営住宅や公民館型みんなの家での支援活動も行い活動の場を広げている。2019年8月には甲佐町住まいの復興拠点施設のみんなの家で利用される家具製作を行い、3つの大学（九州大学、熊本県立大学、芝浦工業大学）が工夫を凝らしたテーブルや椅子を5日間かけて製作し、その材料の一部には仮設住宅のみんなの家の廃材が活用された。最終日には完成した家具のお披露目会が行われ、甲佐町に寄贈された。



九州大学大学院人間環境学府空間システム専攻修士課程2年 鶴田 敬祐 氏

ワークショップでは3つの大学が共同して様々な種類のテーブルや椅子を製作しました。今回作った家具によってより使い易く雰囲気の良いみんなの家になったと思います。このみんなの家が、住民の方々が一気兼ねなく集まれる拠り所になることを願っています。